**患者の皆様へ**

2022年4月20日

千葉大学医学部附属病院　肝胆膵外科

　現在、肝胆膵外科では、日本胆道学会主導研究として「**実臨床データを用いた肝門部領域胆管癌の術前ドレナージ法別の有効性と手術に及ぼす影響に関する多施設共同検討**」を行っています。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

１．研究課題名　「実臨床データを用いた肝門部領域胆管癌の術前ドレナージ法別の有効性と手術に及ぼす影響に関する多施設共同検討」

２．研究の目的・対象

肝門部領域胆管癌に対する術前胆道ドレナージ術のコンセンサスを明確にするとともに、その適応や方法を確立することを目的にしています。

日本胆道学会認定指導施設である当院で2018年1月～2020年12月に肝門部領域胆管癌の検査、治療を受けられた方を対象とします．

３．研究の方法

2018年1月から2020年12月までに、肝門部領域胆管癌と診断し術前に胆道ドレナージ術を行い根治手術を行った患者の病歴、血液検査成績、画像所見、経過をカルテ記録にて後方視的に調べ、それらの症例を解析し、術前の胆管ドレナージ術の方法別の有効性を検討します。

４．個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院臓器制御外科学教室の鍵のかかる部屋に置かれたコンピューター内にパスワードを書けて保管します。

５．研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

**代表機関の研究責任者： 藤田医科大学 消化器内科 橋本千樹**

**本件のお問合せ先：千葉大学医学部附属病院　肝胆膵外科**

 **千葉大学大学院医学研究院　臓器制御外科学**

**医師　大塚将之、高屋敷　吏**

**０４３（２２２）７１７１　内線5282 (臓器制御外科学　医局)**